

金武町教育委員会広報

(仮称)

第3号

発行
金武町教育委員会

先生方と 児童生徒への要望



教育委員長

糸村昌助

平成十九年、学校教育基本法等の改正により、教育行政の内容がかなり変わり教育現場でも、少なからず、とまどいがあるかもしれません。特に学力低下については、課題も多く、又、指導のむつかしい児童生徒に対しての対応の困難さ。これらの問題に対して、社会、地域、父兄から厳しい要求や批判もある。要因として、社会の変化、価値観の多様化、学校に対しての高

い要求、学校現場の苦悩は計り知れないものがあると思う。残念なことに、県内でもごく一部の教師による不祥事は、大きな社会問題となり、教育に対しての信頼を大きく損ね、批判もされている。多くの教師が肩身の狭い思いをしているのではと察する。

教師の萎縮いしゆくは教育の危機であり、学校の危機であると言われている。これだけは、どうしてもあってはなりません。学校教育の果たす役割は大きく、それだけ教師への期待も大なるものがある。金武町の小中学校の児童生徒はすばらしく、スポーツ、文化活動は高く評価されている。しかし、学力面については課題もあり厳しいものがあります。一人一人の教師が、情熱と誇り

と自信を持って、頑張っておこなうことを、お願いいたします。

さて、児童生徒にとって、一番楽しい夏休みも中間になり、夏休みの宿題、体験学習等で快適に生活していると思います。中にはややもすると、生活リズムが崩れ、父母、家族、学校の先生方、地域の方々に心配をかけてはいないでしょうか、リズムが崩れたら、早めに正さなければなりません。正すには当然に注意、指導があります。反発するのではなく、素直な気持ちになつて、話し合うことがとても大事である。父母、家族、学校の先生、多くの町民から大事にされていることを忘れずに、正しい生活態度で素晴らしい、想い出の残る夏休みになるよう希望します。



ともに教育環境の 充実へ！



教育委員長 代理者

前田健次

今年四月から教育委員を拝命しました。これまで学校評議員やPTA活動の経験はあるものの教育の専門家ではありません。一町民の立場で教育行政を共に考え、教育環境の充実、発展の一助になればと思います。よろしくお願いします。

委員就任後、これまで沖縄県市町村教育委員会連合会の研修会や町内の小・中学校を訪問し、七月には県市町村教育委員の研修会などに参加してきました。就任時は、金武町の条例や規則などがびっしり詰まった例規集や学校、社会教育活動の推進および条件整備を促進するための

教育予算など、関連資料との格闘で仕事の幕が開きました。関係項目以外はあまり読んでいませんがー。

今回、原稿執筆の依頼を受け、新人委員ながら「教育のあり方」などの一端を述べさせていただきます。

教育環境のあり方として、学校・地域・家庭との連携、協力、緊密性の重要性は一般的に認識され、よく耳にします。しかし、その基本的行動、当たり前の実践が容易でなく、うまくかみ合わない想いの現状に歯がゆさを覚えます。教師、父母、地域がそれぞれ自責の念にかられ、その厳しい現状と時には克服したい難題に直面しているのではないのでしょうか。「教育」は出口の見えない永遠な課題を追い求め続ける戦いであるように思えます。しかし、その課題は大人に課せられた大事な仕事でもあると思います。子どもの成長を見守る義務者としてー。

その裾野すそのの広い課題の克服を図るため、お互いに、地域の目線、子どもの目線で教育力を養い高めて行くことを心がけたい

ものです。自身で考える教育力とは、家庭力（しつけ、家庭学習、基本生活など）や学力（教師力、授業力）、そして地域力（地域のサポート）だと思えます。私たちはこの教育力の手立てを指し示す道標（みちしるべ）に向かって歩んでいるわけです。保護者と教職員、地域が協力して、子どもの幸せと成長を願って、それぞれの協力と理解、信頼、強く深い絆があって、はじめて互いに高めあうことが出来ると思えます。

教員採用試験の狭き門をクリアしたばかりの若く優秀な先生は、経験不足を若さとやる気度が高く、目配りの行き届いていない頼もしいベテランの先生もおります。町内の小・中学校には若手、ベテランの先生方が首尾

よく配置され、バランスの取れた学校経営がなされており、先生方、自信を持ってください。目配りや授業テクニクがやや欠けても、子どもたちは元気な先生が好きです。

【児童生徒のみなさんへ】

楽しい夏休みはいかががお過ごしですか。「宿題が大変だ！」「キャンプ、旅行が楽しかった」「家の手伝いが大変だった」いろいろな楽しい思い出と貴重な経験を積んだと思います。夏休みは皆さん方を成長させる大事な時間です。ただひとつ、気を付けてもらいたいことは、事故です。一度事故を起こせば自分だけでなく周りの人を悲しませてしまいます。楽しい思い出のためにも注意の上にも注意を心がけてください。一人ひとりが事故を起こさないことを肝に銘じて夏休みを過ごしてほしいと思います。事故の原因は常に心にあります。慢心こそ危険信号です。安全に楽しく帰宅するこ

とを心がけ、無事故で楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。九月から二学期が始まります。

「知・徳・体」の調和



教育委員
宮里輝光

教育基本の改正で、学校教育法改正を受けて、学習指導要領が改正され、「生きる力」を育むという「理念」は現行学習指導要領でも継承することになった。文部科学省は全国学力、学習状況調査の結果を受けて、「基礎的、基本的な知識や技能を実生活で活用する能力等に課題が残ると言うところもあって、その課題を踏まえ、義務教育の目標として、「確かな学力」を育むために重視すべき点が次のように

挙げられた。

①基礎的、基本的な知識、技能の習得

②知識、技能を活用した課題解決のための必要な思考力、判断力、表現力

③学ぶ意欲を育む。その他に、ICTの情報教育の充実

それに新たに定められた義務教育の目標として、学校教育法第二十一条による十項目が規定された。今回の文部科学省の学力・学習状況調査の結果は、県によっては斑^{まだら}があるようですが、その中でも沖縄県は意外にも最下位となっていて、教育機関、学校、父母、地域社会等は大きなショックを受けたものです。

最下位については、社会の影響も大きくそれぞれの立場からいろんな意見が出されたが、諸^{もろ}々の意見も私が思うには子どもの学力と言うよりは、生涯通して、学力をつけるべくして、大事な学習意欲の低さにショックを受けての声だったと思う。

いずれにしても、学力、つまり学習意欲の低さを真摯^{しんし}に受けとめ、その対策を講ずる時ではないか、学力は、教育目標である。「知・徳・体」の調和がとれてはじめて解決の目途が立つものと思う。

子どもを育てる 応援団に



教育委員
伊芸 裕美子

昨年六月より教育委員に任命されました。うるま市平良川出身で、金武町在住十五年です。

現在小学生と中学生の子どもが居ります。自分の子どものために金武町の子どものためにと役目に添えるよう頑張っています。よろしく願いします。

す。

今の社会状況の中、子どもの安心安全の確保が気になります。

それから、今一度親としての役割を再認識したいものです。

子どもの成長の場、社会の一員としての第一歩が家庭であると思います。家庭でのしつけ、教育が社会に出て身に現れる

「ヤーナレーフカナレー」です。我が家では「ほめて育てる」

を基本にした親の役割、子どもの役割を話し合い、家庭でのルール、約束事をしっかり決めることで親子の信頼関係を築いてきました。

外出する時の「誰と、どこで、帰宅時間は」の約束。家庭の仕事の役割分担。家族の一員として手伝えることに責任を持たせる事等、できる事を積み重ねてゆく過程で、親子が互いに対話を重ね「ありがとうの心」を育んでまいりました。子どもを社会人に育ててゆく原点は家庭にあると思います。

先輩から後輩へ



弁護士
岡村 正淳

家庭・学校・地域の繋^{つな}がりの中で親として、子どもたちの未来のために今出来る事を模索しながら、我々大人は、金武町の子どもたちを育てる応援団になりましょう。

私は、一九六〇年三月、金武中学校を卒業し、国費留学生として一橋大学法学部に入学、在学中に司法試験に合格し、二年間の司法修習を経て一九七〇年四月から大分市で弁護士をしています。私は、司法修習生として熊本に配属されるまでは、弁護士になる積りは全くありませんでした。その私が弁護士になった

きっかけは、修習地熊本での水俣病との出会いでした。水俣現地を訪ね、胎児性水俣病の患者を含む劇症の患者さんたちの悲惨な姿に接し、提訴されたばかりの水俣病訴訟で、手弁当で被害者のために必死に努力している弁護団の姿と、高名な学者や裁判官としての経歴をもつ錚々たる弁護士を代理人に並べ、あくまで水俣病に対する責任を回避しようとする加害企業の姿勢を目の当たりにして義憤を感じていたところへ、ともに被害者のため闘う弁護士になろうという原告弁護団事務所からの熱心なお誘いを受け、弁護士になることになったものです。

最初に所属することになっていた事務所は、水俣病訴訟のために専従の弁護士を水俣に常駐させていた福岡の事務所でしたが、丁度その頃、その事務所から大分に転出して同じような活動をしていた先輩弁護士が、多忙のため健康を損ねる事態が発

生し、急遽大分で開業することになりました。その後は、労働事件や公害訴訟などで東奔西走する日々が続き、とうとう沖縄に帰りそびれてしまいました。地位や経済的豊かさとは無縁な一介の弁護士で人生を終わることになりそうですが、弁護士になることにした初心は貫いてきた積もりです。この国を、社会正義と人権がすみずみまで保障される社会にしていくためには、名利を求めず、色んな場所で地道に活動する弁護士が必要です。司法試験に合格することはなかなか大変ですが、意志あるところに道は開けるものです。高い志を抱いて法曹界に参入する後輩が生まれることを切に期待します。



福井県学校訪問 視察研修報告Ⅰ

『全国トップレベルの成果を残した福井県で金武町の小学校・中学校に近い規模の学校を訪ね、授業の参観や視察校の学校経営や資料等の説明受けたり、金武町の取り組みや現状説明等情報交換する中から金武町の問題点や課題等を浮き彫りにし、そこから学力向上に向けた施策を編み出し、徐々にでも成果が出るように努める。』という目標を持って、金武町の小・中学校の校長・教頭先生と教育指導主事（宜野座幸男）の五人で七月二日（水）～七月五日（土）にかけて学校訪問視察研修に行ってきました。

一日目：十七時半に宿に着きました。程なくして、翌日から日程や研修内容の詳細確認、翌日の準備等で一日目が終わりました。

二日目：午前木田小学校訪問

木田小学校に向かう途中最寄りの駅には『心のカレンダー』が掛けられていました。地域の支援団体や中学校美術部が関わった取組であることが分かりました。一枚一枚めくると心に響くような標語が多く、先生方はこの取組に感心し、「我が学校でも取り入れよう！」など春意気込んでいました。



「木田小学校 授業参観・取組説明等」

提案授業 国語 四年四組

単元名：本と友達になろう

『白いぼうし』

①児童について

○男女の仲が良く、言いたいことを気兼ねなく言い合える雰囲気がある。

○ブックサポーターのお母さんによる読み聞かせなど、読書に親しむ機会が沢山ある。

②単元の目標

場面や情景を、色やにおいを表す言葉を手がかりに想像しながら、登場人物の話し方や行動に気をつけて読むことができる。

③単元について

「本と友達になろう」という単元は、読書単元である。教材の読みを通して、物語の世界に浸ることの楽しさを感じさせ、以後の読書意欲へとつなげる大切な単元である。

④授業参観から

○行間に並列して自分で読んだ内容が列記してあるの授業に臨んでおり、説明や人の意見に興味を持って集中して聞いている。

○人の質問や意見に対する先生とのやり取りを、興味を持って集中して聞けることで、より理解が深まっている。

○登場人物の様子・気持ちを豊かに想像する中で、非現実的な世界に入ってきている楽しさを感じている。



授業参観の初会から私を含め

先生方一同、熱気溢れる授業の展開に圧倒され、吸い込まれるように授業を参観していた。

発言者一人一人が堂々としており、聞いている児童は発言者の方を向き、集中して聞いている（自信のある考えや意見を持っているからだろう）。発言者は、次の発言者を指名する。



ただし、先生が板書中は発言をせず指名だけにとどめ、板書を書き写すのに集中し、鉛筆の音だけが響く。実にメリハリのある授業の展開で、児童一人一人のこうい姿勢は、一朝一夕

で身につけられるものではないと感慨を深くしたものである。

視察訪問に先立って、福井県教育庁川崎隆夫指導主事に県外視察の件をお尋ねしましたところ「特別なことはしてませんが」というお応えがございました。「特別なことはしてない」という応えに私は大変興味を持ちました。「私たちは、「成果を上げる秘策があるのでは」などと思っているわけではありません。

全国トップレベルの成果を残している福井県は、長きにわたる地道な取り組みで培ったものが地域や学校の伝統であったり、生徒一人一人の取り組み姿勢に現れているのではないかと思います。』などと以前考えていた事を、私は授業参観中にふっと思い浮かびました。

まさに、その通りに体现されているのです。

⑤取組説明から

○学校目標を「心みがき、学に勉め自己を拓く、木田っ子の

育成」と掲げ、その中の心みがきは（自分を大切にすること）（友達を大切に思う）の意味が含まれ、一人一人を大切に

した教育をモットーに取り組んでいる。具体的には

《個に応じた支援体制》

ア、サンサンルーム・通級

ソーシャルスキル（社会生活）

や学習面でつまづいていている児童に特別支援者が専心的に関わっている。

イ、副担任制

少人数支援員四人、ＴＴ一人
学校生活支援員四人の体制で各組の専属副担任として算数少人数指導、補欠体制として朝の会、帰りの会や給食の時間、担当学年の諸行事、校外学習の応援、朝の会や大休みの特別指導や支援等々様々な場面で関わるので児童により近い存在であり、児童たちは親しみや信頼を持って接しているようである。

ウ、いじめ対策委員会

スクールカウンセラーによる

全校面談、いじめアンケート、いじめ対策委員会便りを通して、教師が目の届かない情報が得られるなど色々な効果が現れた。

当初の便りは、マイナス面の内容が多かったので暗い感じがあった。良いことも触れて載せていったら、プラス面が増えてきた。

エ、ブックサポーター

図書支援員（一人）が読書環境の整備、低学年への読み聞かせ（大休に十分程度）などの取組で読書好きが増えた。

オ、きらりカード

「友達の良さを育てる」というねらいから、自由に書いて色々な方法で紹介している。朝の会や帰りの会で紹介、校内放送（一人一人が読む：励みになっている）、道徳や心のノートの活用と関連づける。等々人間形成に必要な全てを網羅したような取組であり、体制である。

直接には学力向上に繋がらないように思えるが、子供たちが

安心して学校に通い、お互いが気兼ねなく自分の気持ちを表現し、考えが言い合える学校の姿が、全国トップレベルの学校の所以であると感じた。

他の授業も参観させてもらったが、ほぼ同じレベルで素晴らしい授業が展開されていた。



《他学年の授業風景》

これまで、学力向上に繋げるためには授業の工夫改善と、決まり文句のように唱えていることが多かったが、授業を進める側の先生の授業力（熱意が大きな要素だと思う。）と授業を受け

る側である生徒の基本姿勢（説明を良く聞く。板書をちゃんと写す。分からなければ質問をする。理解をより深めるために予習・復習をする。忘れ物をしない等）ができていれば、授業の工夫改善も効果的に反映されるのである。

基礎基盤がしっかりしていなければ効果は薄いのである。

そこで、金武町の各校においては、一事徹底（あたりまえのことをあたりまえに）を掲げて指導しています。その上で学校独自の学力向上対策計画を推進しているのです。地道ではあるが、徐々にでも着実に成果を上げて欲しいものである。

「福井県学校訪問視察研修報告」は、他の訪問視察研修先についてもシリーズで掲載していきます。この報告で学校、保護者、地域、教育委員会がそれぞれ役割が浮き彫りになり連携や協力が図られればと思う。

去った、7月27日28日に沖縄県総合運動公園陸上競技場にて第28回新報児童オリンピック陸上競技大会が行われました。今回、町内から45人の児童が参加し、大会新記録もでるなど、また総合成績3位というすばらしい結果を残せました。上位入賞者は下のとおりです。

平成20年度

第28回新報児童オリンピック

陸上競技大会 上位入賞者

総合成績 3位

大会参加チーム (35チーム)

1年生男子 100m

大会新記録

伊藝勇斗くん



No.	学年	性別	種目	氏名	学校名	記録	順位
1	1年	男	100m	伊 藝 勇 斗	嘉芸小	17" 75	1位
2	2年	男	100m	嵩 原 颯 馬	金武小	16" 91	2位
3	2年	男	100m	仲 田 憲 汰	金武小	17" 06	3位
4	6年	男	100m	仲 間 翔 太 朗	金武小	13" 40	1位
5	6年	男	100m	宇 久 田 海 貴	金武小	13" 51	2位
6	6年	男	ボール投げ	城 間 裕 喜	金武小	64m99	3位
7	1年	女	100m	宝 結 奈	金武小	19" 29	1位
8	2年	女	100m	知 念 春 花	金武小	18" 65	3位
9	5年	女	100m	伊 芸 さくら	金武小	15" 46	3位
10	5年	女	4 × 100mR	真栄平 美咲 下地 久美 大城 優希 伊芸 さくら	金武小	60" 41	1位

金武ジュニアスターズ☆☆☆ 稲尾杯少年野球大会 優勝

福岡県筑紫野市の山家球場を主会場に開かれた第30回稲尾杯少年野球・稲尾和久氏追悼記念大会（主催・筑紫少年野球サンデーリーグ連盟）で8月17日56チーム参加中、金武ジュニアスターズが初出場で初優勝を果たした。



ジュニアスターズみんなで



さよならヒットを打った渡慶次悠介君



最優秀賞の伊保拓海君



優秀賞の宇久田海貴君

キャプテンの松堂嘉洋君は「チームワークが良かった。苦しい試合だったけど最後まで集中力が途切れなかった。」と勝因を力強く語った。投手の伊保拓海君と上原一郎君が力投し、2回戦で完封、決勝は伊保君が1失点と完投した。

3回戦でさよならヒットを打った渡慶次悠介君は「ホームランを打つ気持ちで打席にたった。」と嬉しそうに語った。

来年も、推薦でこの大会に出場が決まっている、5年生は「来年も優勝して2連覇したい。」と決意を語った。

伊芸朝明監督は「チームのモットーである（全員野球）で勝てたことが嬉しい。今回の大会は雨で試合が何度も中断する中、子ども達が集中力を切らさず、よく頑張ってくれた。子ども達が、最後まで勝ちたいという気持ちがあったから優勝できた。」

また、町民の皆様には資金造成でご協力いただき、子ども達、父母一同感謝しています。6年生にとって最後の大会11月に行われる県大会でも優勝できるよう頑張りたい。」と抱負を語った。

八月二日（土）に九州地区ジュニアリーダー大会がネイチャーみらい館で開催されました。

当日は、九州各県から参加した中高生と金武町、宜野座村の中高生合せて百二十〇名が参加し、黒糖づくりやシーカヤック、クイズなどで交流を深めました。

***ジュニアリーダーの感想**

金武町ジュニアリーダー

金盛 奈穂

去った、八月一日から八月三日まで九州地区ジュニアリーダー沖縄大会がありました。

福花にあるネイチャー未来館で、金武町と宜野座村のジュニアリーダーと九州地区のジュニアリーダーが一緒になって、シーカヤックや黒糖づくりの体験をしました。黒糖づくりでは、一人ずつサトウキビを搾り機に入れ、それから出た

ジュースを飲みました。しぼる前としぼった後ではサトウキビの味が違うことには驚きました。

また、それから黒糖をつくるには、結構な時間がかかることもはじめて知りました。

シーカヤック体験では、ふくらしやの皆さんからシーカヤックの使用方法などを習い、それからシーカヤックに乗りました。海では、皆楽しそうに笑いながら漕いでいました。

一日間という短い交流でしたが、九州各県のジュニアリーダーともたくさん交流することができ、いい体験をしました。

金武町ジュニアリーダー

伊芸 彩美

八月一日から三日に九州地区ジュニアリーダー大会が行われました。この大会の二日目には、金武町でのカヌー体験。マングローブ観察などがあり、一人一人が楽しみながら自然の素晴しさなどを学ぶ

ことができたと思います。また、九州から来た人達にとっては、沖縄でしか体験できないことなので、とても貴重で忘れることのできない思い出になったと思います。



「モノ」にみる暮らしの風景

**カ克蘭ンプ、
ホヤランプ**

蛍光灯が普及する前、家々で灯りをともしたランプ。カ克蘭ンプ（左奥）は名称の通り四角いブリキの枠にガラス板が張られ、中に小さな石油ランプを入れて使用されました。屋外で使用されることも多かったそうです。ホヤランプ（右手前）は昭和の中頃まで見られたようですが、蛍光灯照明の普及に伴って次第に姿を消していきました。



家庭教育学級

家庭教育学級を担当している山内（社会教育課）です。

家庭教育学級は、いろいろな定義はありますが、

○教師や親同士が交流を深め、気軽に子育てや、暮らしについて、情報交換ができる

○子どもに伝えたい我が家の味や我が家のルールを考え、子育ての自信につなげる

○クラス・学校・地域などの講座や行事に参加する事で、団体や地域社会とのつながりを学ぶ。

と言うように、子どもを社会へ送り出す前の経験を積む場所と考え、ぜひ親子で楽しく参加し、生活力のある子供に育てたいものです。

第一回の中川幼稚園では、アロママッサージ体験講座を行いました。

九月から各小学校で家庭教育

学級がスタートします。みんな
で学習しませんか。



お母さんのオイルマッサージを受けながら気持ち良く寝転がる子ども達。



楽しそうにおしゃべりしながらお母さんにマッサージをしてあげる子ども達

「残したい金武町の風景」 写真・絵画コンクール

受付期間

平成二十年七月一日（火）～
九月十日（水）※郵送の場合必着。

賞

写真部門

大賞（一名）五万円・賞状

優秀賞（一名）三万円・賞状

景観賞（一名）二万円・賞状

絵画部門 それぞれの部門別

小学校低学年（一～三年生）の部

高学年（四～六年生）の部

中学校（一～三年生）の部

最優秀賞（一名）五万円分図書券

優秀賞（一名）三万円分図書券

特別賞（一名）二万円分図書券

入選（一名）千円分図書券

賞状（各賞）

審査

平成二十年九月下旬審査を行い、入賞者へ直接通知します。受賞式は十月三日（金）開催予定の

「金武町の景観について考える」

景観シンポジウム内で行う予定です。

お問い合わせ

金武町字金武一番地

金武町役場企画課

電話〇九八（九六八）六二六二

作品募集のお知らせ

この度金武町では、景観への関心を高める目的で、多数の方々が参加できる機会として、残したい金武町の風景を題材とした写真・絵画作品を募集し、コンクールを開催する運びとなりました。金武町の残したい、又残していくべき風景を、幅広く募集し、今後の景観行政への参考にしていただきたいと考えています。たくさんのご応募をお待ちしています。

応募資格

写真部門 高校生以上。

絵画部門 町内在住小・中学生。

作品募集テーマ

金武町内の風景を題材とした写真及び絵画作品。

応募方法

所定の応募用紙（金武町役場企画課にて配布）に必要事項を記入の上、直接企画課窓口を持参するか、郵送により提出して下さい。

「青少年深夜はいかい」及び「未成年者飲酒防止」金武町民大会

平成二十年七月十四日(月) 午後五時から金武町営グラウンドにおいて開催されました。

当日は、金武中学校吹奏楽部

と沖縄県警音楽隊による合同演奏会や、パトカー、ミニ白

バイの展示、石川署一日署

長を務めた金武中学校生徒

会長の保良健太郎君も

出席し、三校の小学生児童

代表、金武中学校生徒代表、

高校生代表、父親代表、母

親代表七名の方がそれぞれ

登壇し、力強い意見発表

を行いました。また大会

終了後は巡回パトロール

による街頭指導を実施し

ました。

また、今年度から金武町

青少年健全育成連絡協議

会という新たな組織を結

成し、町内各区でも青少年

健全育成に取り組む機運が高まり、金武町の青少年健全育成事業は新たなステップを踏み出しました。



《いしづか》

※青少年とは、「小学校就学の始期から満18歳に達するまでの者」(婚姻した女子を除く)

※未成年とは、「満20歳に達するまでの者」

※深夜とは、「午後10時から翌日の午前4時まで」

※深夜はいかいとは、「青少年だけで午後10時から翌日の午前4時まで外出すること」

〈次のことは禁止されていゝることです。みんなて決まりを守りまじょう〉

※青少年だけで深夜はいかいすること。

※保護者の承諾なく、第三者が青少年を深夜に連れ出したり、同伴すること。

※保護者の承諾なく、第三者が青少年を保護者以外の者の住宅やホテル等に宿泊させること。

※未成年者が酒を飲んだり、タバコを吸うこと。

○この他にも、国の法律や県の条例などで決められたことがあります。一人一人が自覚を持って行動して下さい。

○地域の人たちや、大人の皆さんが注意することが大切です。気づいたときには下記まで連絡しましょう。

☆金武町役場 (968-2111)

☆石川警察署 (964-4110)

☆金武中学校 (968-2106)

☆並里区事務所 (968-2102)

☆伊芸区事務所 (968-2147)

☆金武町教育委員会 (968-8996)

☆石川警察署金武交番 (968-2105)

☆中川区事務所 (968-2407)

☆金武区事務所 (968-2108)

☆屋嘉区事務所 (964-2040)

「金武町教育相談室」

○小学生・中学生のみなさんともだちやべんきょうのこと、いじめのこと、学校に行くときおなかがいたくなることはありますか？ そんなときはきがるにでんわしてね。

○お父さん、お母さん、子育てで悩んでいませんか？ お気軽に電話下さい。

☆電話相談☆

☆来室相談☆

☆訪問相談☆

『教育相談室』

電話：〇九八一九六八一三九九
有線電話：七一二〇九四

月々金：午前九時～十二時
(祝祭日除く、但し、夏休み・冬休み・春休みは、火、水、金)

『金武町教育委員会』

教育相談員：与那城愛子
場所：金武町教育委員会内

(中央公民館二階)

電話：〇九八一九六八一三九九
有線電話：八一二九九一

「生徒指導報告書」

から

夏休みのある日、ある保護者より上級生からの児童間暴力があったようだと言われ、相談を受ける。その日即、担任と生徒指導担当による聞き取りにより関わった児童生徒が分かった。本人・保護者へ連絡後、学校にて話し合い・指導を行なった。

その後、保護者を交えて両者による話し合いを持ち、加害児童と保護者は、皆に謝罪した。加害児童からは、謝罪として夏休み期間中の奉仕活動の希望があった。これを受けて学校では、児童の奉仕活動への対応と学習指導・日記により児童とのコミュニケーションを図っていくことで、長い夏休みを対応していくこととした。



また、事を知り心配した地域の代表も学校での話し合いに駆けつけた。地域でも子供会での娯楽活動・奉仕活動等で、子ども達との語り合いを充実させる等、今後の対応策が話し合われた。

この事例は、普段から子ども達の様子をよく見ている保護者・地域の目・声の大切さを痛感した事例である。

「早めの対応、どんな小さなことでも見逃さずに、学校・家庭・地域との連携や協力を得ながら子どもたちを育てていきたい」とこのような学校の姿勢は、児童生徒や保護者に対して安心感を与え、ひいては学校の信頼を得る事になる。

今後とも、誠実に接し対応していただきたいと思います。

編集後記

第三号より、「先輩方から後輩へ」というコーナーを設けました。金武町出身の先輩方々から、金武町への思いや活躍ぶり、あるいは、後輩たちへの叱咤・激励等々を載せていただき、児童生徒たちが先輩方の活躍ぶりに触発され、目指す目標が生まれ、叱咤激励に奮起し、スポーツや勉学に励むようになればとおもっています。

金武町の皆さん、推薦できるお方はいらっしゃいます。したら、金武町教育委員会までご連絡ください。よろしくお願ひします。尚、その際は簡単なプロフィールや推薦理由等を添えて、FAX(〇九八一九六八一四九六三)でご送信ください。直接電話(〇九八一九六八一三九九一)でもかまいません。